

市販消毒薬などを使用した水害時の消毒方法 【消毒剤の選定例】

消毒の前に...

- ・消毒作業を行う際は汚れがない状態（希釈水含む）で行うようにしましょう。
- ・消毒作業は水が引き、片付け・清掃・洗浄・乾燥を行ってから、仕上げに行ってください。
- ・消毒剤の散布の際は『長袖』『長ズボン』『メガネ』『マスク』『ゴム手袋』などを用意し、皮膚や目に消毒剤が直接かからないように注意して行いましょう。
- ・薬剤の作り置きなどは避け、使用する直前に調整しましょう。また、薬剤同士を混合しないこと。
- ・使用消毒剤等の説明書をしっかりと読んでから使用しましょう《用量（濃度等）・方法・注意など》。

消毒の対象		使用する消毒薬	市販商品例	作り方（調整方法）		使い方（消毒方法）	主な注意点	
こんな場所（例）								
屋外	<ul style="list-style-type: none"> ・下水やし尿層があふれた場所 ・動物の死骸や腐敗物が漂着した場所 ・氾濫した汚水が付着した場所 ・湿気がたまりやすい床下 	クレゾール石けん	日本薬局方クレゾール	クレゾール濃度約3%	クレゾール石けん液30MLに水を加えて1Lにする（液が濁って沈殿物がみられる場合は上澄み液を使用）	<ul style="list-style-type: none"> ○建物の周りはジョウロや噴霧器等で濡れる程度に散布する ○壁面は泥や汚れを落としてから消毒薬を浸した布でよく拭く 	<ul style="list-style-type: none"> ○使用する状況として、消毒対象がある程度乾いてから実施する（水たまりがない程度） ○刺激臭を伴いますので散布する方・周辺の方々に注意・配慮する 	
		オルソ剤	オルソ剤、他	オルソ剤200倍液	オルソ剤20MLに水を加えて、1リットルにする	○噴霧器（散布機）で噴霧する場合は濡れる程度で噴霧する	○井戸水など生活用水が近い場所ではそれらに混入しないように注意する	
		消石灰	—	目安300g/m3	そのまま使用	<ul style="list-style-type: none"> ○浸水した床下・家の周囲等へ表面が白く覆われる程度（目安300g/m3）の量をそのまま散布する ○散布した消石灰が飛ばないように、ジョウロ等で軽く水をまき、散布した消石灰の表面を固める 	<ul style="list-style-type: none"> ○消石灰が皮膚に付着するとやけどをするので注意が必要 ○消石灰は水と接触すると発熱するので触れてやけどなどをしないよう注意する 	
屋内	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水につかった壁 ・汚水につかった床 ・汚水がついた家財道具等 	逆性せっけん	アストップオスバンクリアキルハコマロンテクト他	塩化ベンザルコニウム又は塩化ベンゼトニウム0.1%	10%塩化ベンザルコニウム10MLに水を加えて1Lにする	<ul style="list-style-type: none"> ○調整した液をバケツなどに入れ、布などをその中に浸し、軽くしぼってからよく拭く ○噴霧器（スプレー等）を使用する場合は濡れる程度に噴霧する ○その後そのまま乾かす 	<ul style="list-style-type: none"> ○汚れを落としてから消毒する（泥などの汚れは先に洗い流し、雑巾等で水ぶきをする） ○食器・調理用具などは別の方法が好ましい（下記） 	
						<ul style="list-style-type: none"> ○洗面器などに調整した消毒液を入れ、手首まで浸し30秒以上もみ洗いをする ○乾いたタオルやペーパーでよくふきとる 	<ul style="list-style-type: none"> ○汚れをハンドソープ等で洗い流し、水で泡をよく落とす（洗浄成分が残っていると殺菌力が下がる場合がある） 	
手	<ul style="list-style-type: none"> ・後片付け等で汚染された場所や土壌に触れた手指（食べる前や食材に触れる作業をする場合は2回、手洗いを行うことが望ましい） 						<ul style="list-style-type: none"> ○乾いたタオルやペーパーでよくふきとる 	
							<ul style="list-style-type: none"> ○洗面器などに調整した消毒液を入れ、手首まで浸し30秒以上もみ洗いをする ○乾いたタオルやペーパーでよくふきとる 	<ul style="list-style-type: none"> ○汚れをハンドソープ等で洗い流し、水で泡をよく落とす（洗浄成分が残っていると殺菌力が下がる場合がある）
棚・冷蔵庫	<ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫内・陳列棚等の食品等が直接ふれるような保管場所（それ以外は「屋内」のやり方でも問題なし） 	次亜塩素酸トリウム（塩素系漂白剤）	キッチンハイターニューブリーチビューラックス他	次亜塩素酸トリウム0.02%	10%の製品を使用する場合、本剤2MLに水1Lとする	<ul style="list-style-type: none"> ○水洗いした食器を、調整した消毒液に5分以上浸し、その後自然乾燥させる 	<ul style="list-style-type: none"> ○錆・塗装の剥離などが心配な場合はアルコール（下記）を使用 ○電源（電池含む）をさしたままの使用は控えること 	
		エタノール（消毒用アルコール）	アクリン他	70%濃度60~80%	基本的にそのまま使用できるようになっています。	<ul style="list-style-type: none"> ○よく乾燥させてある場所に直接塗布（スプレー式で行うのが最適）し、その後自然乾燥させる 	<ul style="list-style-type: none"> ○火器周辺での使用、電源（電池含む）をさしたままの使用は控えること。 	
食器類	<ul style="list-style-type: none"> ・使い捨てタイプを除く食器類 	熱水	—	80℃以上（ぐつぐつ煮える程度）	○10分間、浸漬します	<ul style="list-style-type: none"> ○ある程度汚れがあっても殺菌効果が得られる ○やけど・火器取扱い（換気含む）に注意が必要 ○耐熱容器以外は不向き ○温度をしっかりと達させる 		
		次亜塩素酸トリウム（塩素系漂白剤）	キッチンハイターニューブリーチビューラックス他	次亜塩素酸トリウム0.02%	10%の製品を使用する場合、本剤2MLに水1Lとする	<ul style="list-style-type: none"> ○水洗いした食器を、調整した消毒液に5分以上浸し、その後自然乾燥させる 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的に使いまわしのすべての食器具に有効 	
井戸水	<ul style="list-style-type: none"> ・井戸水を生活用水として使用する場合《注意：飲料水として使用する場合は水質検査をして飲用可能であることを確認すること》 			残留塩素1~2ppm	10%の製品を使用する場合、本剤を1滴程度加える	<ul style="list-style-type: none"> ○消毒剤を入れたあとは30分程度放置する 	<ul style="list-style-type: none"> ○汚染された井戸水は水質検査で引用可能になるまでは飲まないほうがよい。やむを得ず飲む場合は煮沸消毒してから用いる 	

○水分が多い環境は微生物の増殖を招きます。また汚れが残っていると消毒の効果が落ちてしまいます。浸水した場所はしっかりと汚れを落とし、扇風機を利用するなどしてよく乾燥させてから消毒しましょう。